

# 2018年度4-7月 真生会館講座 アウグスティヌス『神の国』を読む

講師：荻野弘之（上智大学文学部哲学科教授、真生会館評議員）  
時間：金曜日 19:30-21:00（全9回）

ローマ帝国の末期に活躍し、「西欧の教師」と呼ばれ、キリスト教神学の形成に大きな影響を与えた最大のラテン教父、聖アウグスティヌスの主著『神の国』を日本語訳で読みながら、各巻ごとに展開されるキリスト教思想と歴史認識の基本的なテーマをいくつか考えてみましょう。有名だが、一人ではなかなか読めないキリスト教の古典的著作に接近する機会です。

単に講義を聞くだけでなく、自分の目で実際のテキストを読んでみましょう。受講者同士の読後感や意見も交換します。

以前の講座の継続受講者、新規の受講者ともに歓迎。一回ごとの参加でも可能です。

**予備知識：** 聖書とキリスト教について、多少の基礎知識があることが望ましい。  
**水準：** 大学の一般教養科目程度の内容。 対象：学生、社会人、信徒、修道者  
**受講料：** 各回 1000 円、学生は無料  
**テキスト：** アウグスティヌス『神の国』（全5巻）服部・藤本訳、岩波文庫  
（版元品切で入手しにくいいため、コピーを用意します）  
アウグスティヌス著作集 11-15『神の国（1-5）』赤木・泉・金子訳、教文館  
**各回の内容：**（進度によって、内容は随時変更になることがあります。）

- ① 4/27 アウグスティヌス『神の国』概説
- ② 5/11 アウグスティヌスの生涯とその時代背景
- ③ 5/25 ローマ帝国とキリスト教の関係（迫害、国教そして崩壊）
- ④ 6/08 二つの国と二つの愛（神の国の起源）
- ⑤ 6/15 神話・聖書・歴史
- ⑥ 6/22 時代区分論——世界史をどう見るか？
- ⑦ 6/29 神の国とカトリック教会
- ⑧ 7/06 「正戦論」の起源としてのアウグスティヌス？
- ⑨ 7/13 岩下壮一師と『神の国』

## お申込み・お問合せ

一般財団法人真生会館 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4（JR 信濃町駅下車徒歩 1 分）  
Tel: (03)-3351-7121 Fax: (03)-3358-9700  
E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp URL: http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp

○ 真生会館講座 「アウグスティヌス『神の国』を読む」申し込み事項

受講日: 全回（希望日に○） 4/27, 5/11, 5/25, 6/8, 6/15, 6/22, 6/29, 7/6, 7/13

お名前: \_\_\_\_\_

ご住所: 〒 \_\_\_\_\_

緊急連絡先: TEL \_\_\_\_\_ E-MAIL \_\_\_\_\_